

枕草子 二時間目

清少納言

課題

◎現代語訳を参考に(1)～(3)、(2)、(3)ページ下段作者の好きな時間帯の好きなものや様子を季節ごとくまとめる。

季節	好きな時間帯	好きなものや様子 (「風情がある」「趣がある」「趣深い」「よい」)
(例) 春	明け方	・山ぎわが(少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいている)のは風情がある。 ・ () (が出ている時は言つまでもないほどよい。 ・ 螢が) ()のがよい。 ・ 螢が) ()趣がある。 ・ 雨が) ()。
夏		・ 鳥が) こどもでもしみじみとしたものを感じさせる。 ・ 雁などが) (たいへん おもしろい。 ・ 日が) () などがするのも、これもまた、言いようもないほど趣深い。
秋		・ 雪が) ()言つまでもないほどよい。 ・ 霜が) ()なのもよい。 ・ たいそう寒いとき、) () たいへん似つかわしい。
冬		

清少納言は、冬には「好ましくなく」ものを最後に書くつもりです。

昼になって、寒さがだんだん緩んでいくと、()になって、好ましくない。

◎作者は()なものの見方や捉え方をしているのか、それ()の()表現(文章)の書かれ方()しているのかをまとめる。

例えば・・・

作者は、好きな(嫌いな)ものや様子を述べるとき、どんな順序で説明しているかな？

(例) 作者は、それぞれの季節の()？ (述べたあとに、) ()？ (述べている。